石見養護学校中学部１・３組　社会科学習指導略案

日　時：６月２９日（月）１３:２０～１５:００
場　所：石見養護学校　CR７
指導者：埋蔵文化財調査センター職員２名
　　石見養護学校教諭３名

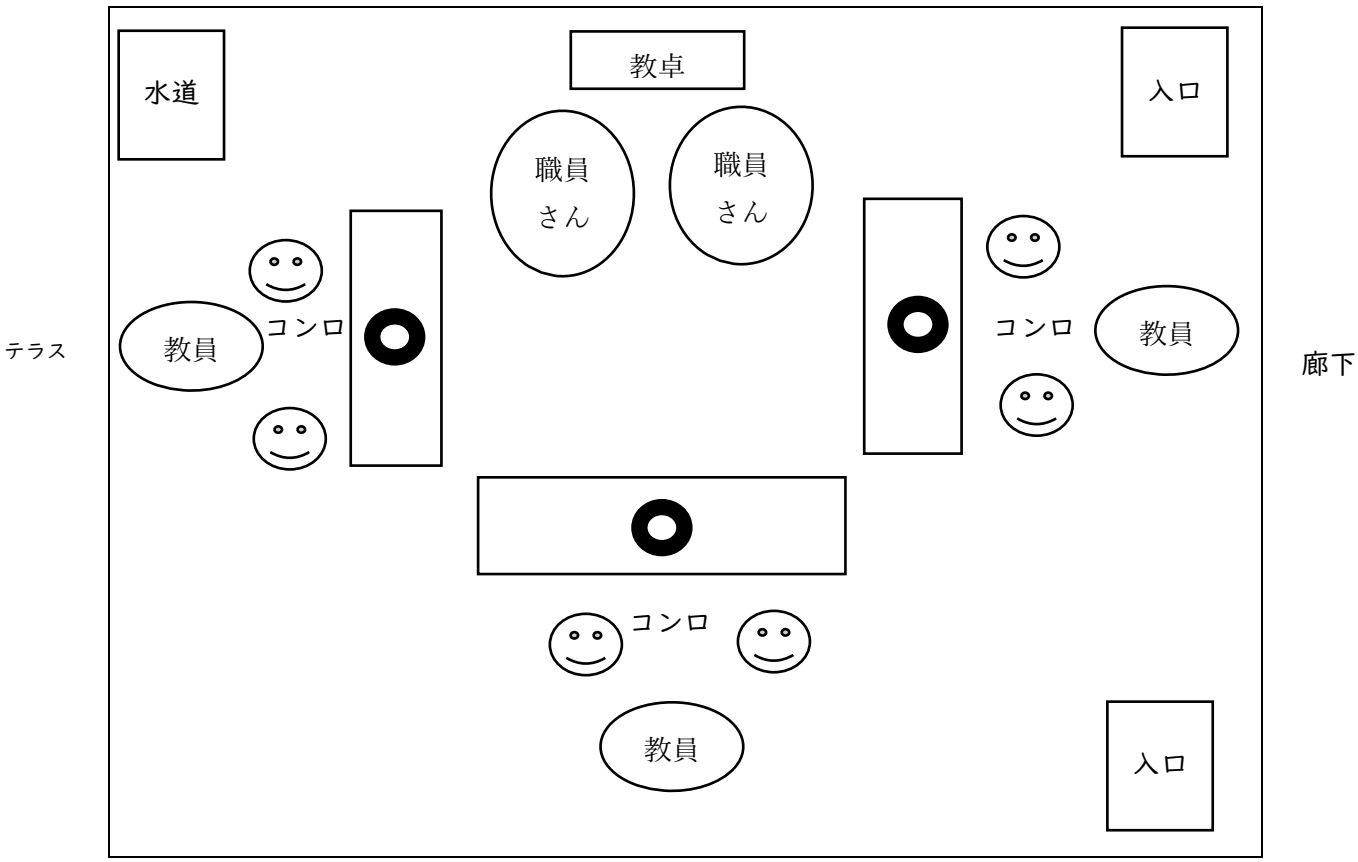
１．本時の目標　・和同開珎作りの体験を通して、昔の人々の生活に興味や関心をもつ。
・昔の人々が使っていた貨幣に触れ、昔の人々の生活や物作りを知る。

２．展開

時間	学習内容・	児童生徒の活動（〇）と教師の支援（・）	準備物
１３:２０	１．はじまりの挨拶	〇はじまりの挨拶をする。 ・３組の日直に号令をお願いする。 ・姿勢を整えるように必要に応じて、言葉かけをする。	□長机３台（学校）
１３:２２	２．講師の紹介	〇講師にあいさつをし、講師の紹介を聞く。 ・講師に注目することができるように、必要に応じて言葉かけをする。	
１３:３０	３．今日の活動内容を知る	〇和同開珎作りをすることを知る。 ・現在の貨幣の実物を提示し、昔の貨幣に興味関心をもつことができるようにする。 ・現在と和同開珎の時代までの歴史の中で、生徒が興味関心をもっている事物人物等を示し、昔の生活に興味をもてるようにする。 ・何を作る分かり作成できるように、和同開珎の説明動画を見る。	□現在の貨幣（学校） □ホワイトボードに貼る年表、事物人物カード（学校） □タブレット～NHKforSchool（学校）
１３:４０	４．和同開珎作り体験 ①和同開珎の説明（１０分） ②前半体験（流し込み）（１５分） ＜休憩＞（１０分） ③古いお金の話（１０分） ④後半体験（取り外し・削り）（１５分）	〇講師の説明を聞いて、和同開珎を制作する。 ・安全に行えるように２人ずつのペアを１グループにし、１テーブルで行い、教員１名が１テーブルを見守ったり声をかけたりし、危険がないようする。 ・どの部分がなぜ危険かをきちんと伝え、慎重に活動に取り組めるようにする。 〇古いお金を触ったり、講師の説明を聞いたりする。 ・画像やクイズを取り入れ、興味を持って取り組めるようにする。	□軍手（学校） □和同開珎作り ・材料 ・道具一式（センター） □古い貨幣（センター）
１４:４０	５．ふりかえり ①感想を発表する ②振り返り用紙の配布	〇本時の学習をふりかえり、感想を発表する。 ・必要に応じて、完成品や制作中の写真を見たりし、振り返りできるようにする。	□アンケート用紙（埋蔵文化財調査センター）～後日記入、センターに提出
１５:００	６．終わりの挨拶	〇終わりの挨拶をする。 ・３組の日直に号令をお願いする。 ・姿勢を整えるように必要に応じて、言葉かけをする。	

３．配置図

中１組教室（CR7）



４．準備物

（石見養護学校）軍手、長机３、現代の貨幣、ホワイトボード、タブレット
（埋文センター）和同開珎セット（鋳型、材料など）３、カセットコンロ３、古い貨幣
アンケート用紙、解説資料（事前にメールで送る）